

進捗状況調査票（令和7年度末時点）

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
1	65	一時預かり保育	直前でも気軽に子どもを預けられるサービスや施設を希望。現在は特に申請面でハードルが高い。空き状況がリアルタイムで確認できて、空いていたら即申し込めるような状態を望む。	一時預かり保育については、お子さんを安全にお預かりするため、事前に申し込みいただいております。また、利用を希望されるかたも多く、あらかじめ希望日をお聞きし、利用日を調整して、お子さんの年齢や人数により保育士を配置しているため、空きがないのが現状です。
2	56	育児休業による保育園の退園	下の子が産まれたら保育園を退園しなくてはならないという決まりをやめてほしい。	0～2歳児クラスについては保育需要が高く、待機児童がいるため、保育の必要性の高い人かたが入園できるよう、保護者の育児休業中は退園いただいております。今後も、既存施設の改修や、小規模保育所の開設等により保育の受入れ枠の拡大を進め、まずは待機児童を解消し、保育の需給バランスを見て、未就園のお子さんを複数保育している家庭の負担軽減との公平性を考慮しつつ、0～2歳児クラスの育児休業中の継続入所等を検討してまいります。
3	24	保育園・幼稚園・認定こども園の拡充	共働きがしやすいように、幼稚園や保育園を増やしてほしい。また、その要件を緩和してほしい。	令和8年4月から私立幼稚園（1園）が認定こども園へ移行することで保育の受け皿が拡大します。今後も既存施設の改修等に伴う子どもの受入枠の増加や、保育の需要に対応できるよう努めてまいります。また、保育園は、保護者の就労や疾病等の理由により、保育が必要な場合に保護者に代わって保育する施設ですので、要件を満たさないと入園できませんが、幼稚園は、就労等の要件はなくご利用いただけます。
4	34	保育園の準備物等	手作り制度をやめてほしい。また、おむつのサブスクなど、働く世帯が子育てしやすいように導入を検討してほしい。あと、保育園で使用したおむつは園で廃棄してほしい。	入園にあたり準備いただくものにつきましては、園での集団保育に支障のないサイズ感や素材などをお示しした上で、その範囲内であれば、既製品を使用いただいている方もいらっしゃいます。公立保育園での紙おむつの廃棄やサブスクサービスにつきましても、令和5年度から導入させていただいております。
5	26	母親のケア	子どものケアより疲れたお母さんのケアをしてほしい。	1歳未満の母子を対象に産後ケア事業があります。お子さんと一緒に助産師がいる施設に日帰りや宿泊をして授乳や育児の方法の指導、お母さんの身体的ケアなど必要な支援をします。産前産後ヘルパーや一時保育などの他の支援サービスについても一緒に考えてお母さんのサポートに努めます。

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
6	21	ヘルパーの登録	赤ちゃん訪問の時にヘルパーの登録ができると嬉しい。 （とてもいい制度で登録したかったが、登録で市役所まで行かなくてはいけないと言われ、行くまでが大変なの にと思った。）	令和6年度から電子申請による登録を開始しております。登録のための来庁は不要となりました。
7	71	遊び場の拡充	室内遊び場が岡崎は少なく必要性を感じる。梅雨や台風、猛暑の影響もあり、一層必要性を感じている。	天候や気候に左右されない乳幼児の遊び場として、総合子育て支援センター、市内5か所の地域交流センター内にある「つどいの広場」、保育園の園庭や保育室の一部を開放する「地区子育て支援センター」「子育て広場」、岡崎げんき館の子ども育成ゾーン、岡崎市額田センター（こもれびかん）があります。各学区こどもの家では、小学生が利用していない時間帯にご利用いただくことができます。 南公園では、屋内遊戯施設（運営は民間事業であり有料）や大屋根付き多目的広場の設置を含む再整備を令和6年4月から公園を閉園して進めており、令和9年4月からのリニューアルオープンを目指しています。 また、岡崎地域文化広場ふれあい広場の野外ステージ周辺に、子どもたちが天候に左右されずに、家族や友だちとお弁当を食べたり、遊んだりできる大屋根が整備されました（2025年11月9日）。
8	51	遊び場の拡充	雨の日でも遊べる場所が欲しい。	休日等に家族全員で楽しむことができ、地域の子どもが集まる居場所として、東西南北・中央にバランスよく屋根付き広場を整備することが望ましいと考えますが、先行地域（項目7）の状況も踏まえ、庁内でしっかりと議論し設置時期等を検討していきます。 なお、令和7年度中に地域文化広場の大屋根が完成しました。野外ステージで催し物等がない日は、自由に利用ができます。
9	25	公園の遊具	大きい公園以外には、ポロポロの遊具しかなくて、楽しそうな遊具のある公園まで車で行かなくてはならない。	施設点検において安全性が危惧されるものや、設置後の年月が経過しているものから、毎年予算の範囲内で公園の利用実態を確認した上で地元と協議し順次更新を実施しています。 また、施設整備以外にも公園愛護運営会（公園育み隊）等を中心に日常的に利用されている身近な公園を地域住民の庭と捉え、清掃活動や緑化活動、健康づくりなどの地域イベントに子どもから高齢者まで参画いただくソフト側の取組みを実践されている地域もあります。身近な公園を魅力的な居場所とするため、利用者の皆様が積極的に関わっていただけるような取組みにも努めたいと考えます。
10	23	男性の育児休業等	男性も育休をとったほうがいいと思う。一番支えて欲しい時に支えてもらえると感謝が生まれて、その先もずっと仲良くいられると思う。	育児休業をはじめとした男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発し、市民全体の気運を醸成するため、子育て家庭向けに「おかざきパパマイスター養成講座」を全4回開催するとともに、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」を作成し、母子健康手帳交付時に配布しています。また、パパ同士で気軽に情報交換できる環境を整備するため、市内公園にパパと子どもが集まってパパ同士が交流を図る「PAPATOパークおかざき」を開催したり、「おかざきパパマイスター養成講座」受講生同士のコミュニティづくりも行っています。この他、高校生を対象にした男性の家事・育児参画出張授業を通して、次世代の教育及び意識向上に取組んだり、企業における子育て家庭従業員の雇用環境整備を推進することを目的とした企業向けセミナーも開催しており、個人・企業の双方向から男性の家事・育児参画を推進しています。

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
11	136	本イベントの来年度開催	次年度も本イベントを開催してほしい。	<p>令和4年度から、特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン（以下「ファザーリング・ジャパン」という。）との官民協働事業として開催してまいりました「おかざきこそだて会議」について、令和7年度は、民間企業様の協賛により実施いたしましたが、今後の継続について、本市とファザーリング・ジャパンで協議を行った結果、市の事業としての在り方と協賛企業様の出展による採算性を両立することが難しく、本年度をもって終了することといたしました。</p> <p>今後も子育てハンドブックやすすくLINEでの情報発信、男性の家事・育児参画を推進する事業などを通じ、子育て環境の整備に取り組みます。</p>
12	R5：76 R6：47	男性の労働時間（残業）の見直し、収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・母親と同じレベルで仕事をセーブすることが難しいため、男性は家事育児がやりにくい。 ・（家事育児は）フルタイム（残業も常態化）との両立が難しい。 ・子どものいる家庭の男性の残業が減ってほしい。 ・旦那さんの激務がなくなれば家事負担してくれる。残業しないと生活できない世の中を変えて欲しい。 <p>など</p>	<p>企業における子育て家庭従業員の雇用環境整備を推進することを目的として、令和4年度から企業担当者向けセミナーを開催しています。セミナーに企業の上層部や人事担当者が参加し、男性の家事・育児参画やワーク・ライフ・バランスなどについて理解を深めることで、従業員の労働時間をはじめとした雇用環境を見直す機会を創出しています。1社でも多くの企業に参加していただけるよう、セミナー内容を検討するほか、企業や公益財団法人岡崎幸田勤労者共済会など連携して広報をしています。</p>

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
13	R5：48 R6：47	夫が妻を思いやる気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・父親は、母親が家事育児をやっているなら手を出さなくていいだろうと思っている。 ・家事育児は調べる手段はいくらでもある。夫は積極的に行動し、産後の体やメンタルがボロボロの妻を支えてあげるといった思いやりが必要。 ・家事ができないならせめて「〇〇してくれてありがとう」などの感謝や労いの言葉を毎日言ってほしい。 など	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。夫婦で共に思いやりながら妊娠期・育児期を過ごすコツなどについてもお伝えしています。また、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「産前産後の女性の心と身体について」や「夫婦でのコミュニケーションのコツ」、「育児休業制度」など、知っていそうで実は詳しく知らなかった内容について掲載することで、互いに思いやる気持ちを持てるように促しています。</p>
14	R5：42	男性の育児休業や休暇に対する企業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの男性が家事育児に関わるためには、男性が育休を取得しやすい環境作りが必要。 ・子どもの熱や不調による男性社員の早引き、突発休みへの職場の理解がない。 など	<p>企業における子育て家庭従業員の雇用環境整備を推進することを目的として、令和4年度から企業担当者向けセミナーを開催しています。セミナーに企業の上層部や人事担当者が参加し、男性の家事・育児参画やワーク・ライフ・バランスなどについて理解を深めることで、従業員の労働時間をはじめとした雇用環境を見直す機会を創出しています。1社でも多くの企業に参加していただけるよう、セミナー内容を検討するほか、企業と連携して広報をしています。</p>
15	R5：32 R6：44 R7：13	夫婦でコミュニケーションを取る必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦で話をするのが大事。 ・（男性の意見として）家事育児は妻のやり方でやらないともめる。 ・子育てに男女差はないが、家事は女性のこだわりが多く、やっても感謝より否定の言葉が多くやる気にならない。 ・育児を円滑に進めるためには、子どもの良い点があったら旦那に必ず話す、トラブルは一緒に解決方法を考えるとよい。 ・妻には『聞く前に自分で調べたら』といわれる。 など	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。夫婦間のコミュニケーションを大切にしながら妊娠期・育児期を過ごすコツなどについてもお伝えしています。また、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「夫婦でのコミュニケーションのコツ」について掲載しています。</p>
16	24	男性トイレのオムツ替え台等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のトイレなどで、女子用にしかベビーベッド（オムツを替える台）がついていない事例が頻発している。 ・男性がオムツ替えやミルクをあげる為の施設（空間）を設置する為の助成等援助をする。 など	<p>既存の公共施設において、男性がオムツ替えができる場所を新たに設置する予定は、現状ではございません。また、民間施設への補助等も予定はしておりません。しかしながら、男性が主体的に育児を行う上で、男性トイレ等にオムツ替え台があることが望ましいことを踏まえ、新設や改修する公共施設において設置するよう検討してまいります。</p>
17	60	夫婦でお互いを思いやる気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ・家事を円滑に進めるため、ありがとう！と積極的に感謝を伝えるとよい。家事のやり方にこだわらない。 ・「家事をやってやってる」などを考えないことが大切。 ・言われなくてもやる。やってもらったことにケチはつけない。 など。	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。夫婦で共に思いやりながら妊娠期・育児期を過ごすコツなどについてもお伝えしています。また、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「夫婦でのコミュニケーションのコツ」や「家事や育児のやり方についてのアドバイス」を掲載することで、互いに思いやる気持ちを持てるように促しています。</p>

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
18	117	おおらかな気持ちで家事・育児に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・家事はある程度手を抜いて完璧にできなくてもいい。 ・精神的にしんどくなるなら家事を放棄してOK。 ・食洗器や乾燥機をフル活用する。 ・精神的・時間的に余裕をもって、子どもに優しく接したい。 など	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。具体的な家事・育児のやり方やコツについてもお伝えしています。また、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「家事や育児のやり方についてのアドバイス」を掲載することで、家事・育児に対する心身の負担の軽減に取り組んでいます。</p>
19	25	こどもの成長・しつけ	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもにもっと楽しむ方法を教えてあげたい。 ・育児のルールとして、汚い言葉使いはしない。ダメな子と言わない。叩かない。 など	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。具体的な育児のやり方やコツについてもお伝えしています。また、本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「育児のやり方についてのアドバイス」を掲載しており、育児のコツをご覧いただけます。</p>
20	32	家事・育児をしたくても難しい男性に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても「家事分担をちょうど半分」というのが出来ないで母親の負担が多くなってしまいが、歯がゆく思っている父親も少なからずいることを理解してほしい。 ・家事分担について、一概に男性が行えば済む問題ではなく、様々なバランスの上に成り立っているのが難しい。 など	<p>男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招いています。具体的な家事・育児のやり方やコツ、シェア（分担）の考え方などについてもお伝えしています。女性も参加できますので、夫婦で参加することでお互いの考え方や気持ちを伝え合い、共有するきっかけにできます。</p>
21	105	日常的に使うデジタル媒体で、受動的に子育て情報が受け取れる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市公式でイベント情報専門のSNSとかがあると嬉しい。 ・LINEなど一般的に使われているアプリで情報が欲しい。 ・半強制的に情報を聞かされる仕組みがあってもいいかも。 ・知ろうとすること自体結構カロリーーいる。 ・すすくLINEでの情報が増えるといい。 など	<p>妊娠中から3歳未満のお子さんがあるご家庭を対象に、岡崎市公式LINEで子育て支援情報を配信する「子育て応援すすくLINE」を実施しています。お子さんの成長の様子やパパママの心身の健康に関する情報にあわせて、月3回、市の子育て支援サービスやイベント情報も配信しています。より子育て家庭にとって最適な情報が配信できるよう、検討してまいります。</p>

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
22	94	日常生活の中で、自然に情報に接する機会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の公園などで情報発信してくれるとキャッチしやすいし頭に残ると思う。 ・普段行くようなところ（コンビニ等）にイベント関連の情報が掲示してあると忘れにくい。 ・病院や市から発行されるものは、多くの人の手が入って信用できます。 ・学校や保育園からの手紙の方がしっかり目を通す。など 	子育てに関する情報発信として、「岡崎市子育てハンドブック」や本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」を発行し、母子健康手帳交付時等に配布しています。また、こども育成課が主催する子育てイベントチラシは、母子健康手帳交付時や健康診査時、市内保育園等でも配布を行っており、より広く情報に触れられる機械が作れるよう検討してまいります。
23	71	相談しやすい環境や、気軽に悩みを共有できる場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設で少し相談できるイベントがあればいい。 ・悩んだときはこういう場が利用できるといった情報があると助かる。 ・みんな忙しいし、自分も忙しい。 ・悩みを言葉にすること自体が難しい。 ・同様な立場の人が身近にいない。など 	岡崎市には様々な悩みに応えるための相談窓口があります。商業施設ではありませんが、市役所や総合子育て支援センター、地区子育て支援センターなどで保育士・保健師や専任の職員が相談にあたりますので、ひとりで悩まず、どんなことでもお気軽にご相談ください。相談先について詳しくは「岡崎市子育てハンドブック（困ったときの相談窓口）」や市HP（育児相談のできる場所 https://www.city.okazaki.lg.jp/kosodate/kosodate/1003532/1003533.html ）などをご確認ください。
24	77	相談内容に対する納得感や信頼が得られないことへの不安	<ul style="list-style-type: none"> ・結局自分の子は自分の子なので答えは出ないと思うから。 ・相談相手の回答が必ずしも正しいとは限らないと考えているため。 ・状況や環境を知ったうえで、当事者の立場に立って考えていただければいいが、寄り添いが無い場合に頼りにできない。 ・配偶者に相談はできるが、他の大変な家庭や育てにくい子を比較対象に出され、何も解決しない。など 	岡崎市には様々な悩みに応えるための相談窓口があります。市役所や総合子育て支援センター、地区子育て支援センターなどで保育士・保健師や専任の職員が相談にあたりますので、ひとりで悩まず、どんなことでもお気軽にご相談ください。相談先について詳しくは「岡崎市子育てハンドブック（困ったときの相談窓口）」や市HP（育児相談のできる場所 https://www.city.okazaki.lg.jp/kosodate/kosodate/1003532/1003533.html ）などをご確認ください。また、男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座（全4回）」では、各回ごとに様々な分野の専門家を講師として招き、具体的な育児のやり方やコツについてもお伝えしています。本市独自の父子手帳「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」でも、「育児のやり方についてのアドバイス」を掲載しており、専門家の意見や育児のコツをご覧いただけます。